

講義名	臨床栄養学 I
開講学年	1
単位	2

授業の達成目標	臨床栄養の概念及び意義を理解し、各種疾患の病態生理と栄養・食事療法に関する基礎的知識を習得する。
授業の概要	栄養管理を適切に行うことができる能力を習得するために、病態や病態時の食事療法の基礎について学ぶ。
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	臨床栄養の概念	臨床栄養の意義と目的	入院時食事療養制度、チーム医療、スクリーニング、アセスメント、計画、モニタリング
2	栄養補給方法	栄養補給方法の特徴と選択	経腸栄養、経口栄養、一般治療食（常食、軟食、流動食）、特別治療食、経管栄養、半消化態栄養剤、消化態栄養剤、成分栄養剤、静脈栄養（中心静脈、末梢静脈）
3	疾患・病態と栄養・食事療法①	代謝・内分泌系疾患－るい瘦、肥満、糖尿病－	BMI、たんぱく質・エネルギー栄養障害（PEM）、リフィーディングシンドローム、肥満症、メタボリックシンドローム、糖尿病
4	疾患・病態と栄養・食事療法②	代謝・内分泌系疾患－糖尿病食事療法のための食品交換表－	糖尿病食品交換表、80kcal、1単位、6つの食品グループ
5	疾患・病態	代謝・内分泌系疾患－脂質異常症、痛	LDL コレステロール、

	と栄養・食 事療法③	風、高尿酸血症、甲状腺機能亢進症、甲 状腺機能低下症ー	HDL コレステロール、 トリグリセリド、プリ ン体、バセドウ病
6	疾患・病態 と栄養・食 事療法④	消化器疾患ー下痢、便秘、過敏性腸症候 群、炎症性腸症候群ー	クローン病、潰瘍性大 腸炎
7	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑤	消化器疾患ー肝炎、脂肪肝、肝硬変、胆 石症、胆嚢炎、膵炎ー	ウイルス性肝炎、アル コール性肝炎、非アル コール性脂肪性肝疾患 (NAFLD)、代謝異 常関連脂肪性肝疾患 (MASLD)、非アル コール性脂肪性肝炎 (NASH)、代謝異常 関 連 脂 肪 肝 炎 (MASH)
8	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑥	術前・術後、薬と食物の相互作用	胃切除、ダンピング症 候群、分割食、グレー プフルーツ、納豆、ビ タミン K
9	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑦	循環器疾患ー高血圧症、動脈硬化症、虚 血性心疾患、心不全ー	心筋梗塞、狭心症、 DASH 食、浮腫
10	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑧	腎疾患ー糸球体腎炎、腎不全、慢性腎臓 病ー	たんぱく尿、浮腫、腎 臓病食品交換表、治療 用特殊食品
11	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑨	腎疾患ーネフローゼ症候群、糖尿病性腎 症、透析ー	糖尿病腎症のための食 品交換表、血液透析、 腹膜透析、カリウム、 リン
12	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑩	血液疾患、呼吸器疾患	鉄欠乏性貧血、巨赤芽 球性貧血、慢性閉塞性 肺疾患 (COPD)
13	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑪	筋・骨格系疾患、摂食機能低下	骨粗鬆症、骨軟化症、 くる病、サルコペニ ア、フレイル、ロコモ

			ティブシンドローム、 嚥下障害、嚥下調整食 学会分類 2021、とろみ
14	疾患・病態 と栄養・食 事療法⑫	免疫・アレルギー疾患、小児疾患	食物アレルギー、先天 性代謝異常症
15	まとめ	臨床栄養学Ⅰ総括	

事前・事後学習の内 容	教科書を中心に学習内容を確認しておく。 授業終了後、教科書や配布プリントを用いて復習する。
成績評価の方法	試験にて評価する。 評価基準は、合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点： A、75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、60 点未満：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2/3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	
教材	栄養科学シリーズ NEXT 臨床栄養学概論 第 2 版：講談社 糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版：日本糖尿病協 会・文光堂